

ダイワ米国リート・プラス

(毎月分配型) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし
(年2回決算型) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし

運用報告書(全体版)

毎月分配型

第112期	(決算日 2025年9月26日)
第113期	(決算日 2025年10月27日)
第114期	(決算日 2025年11月26日)
第115期	(決算日 2025年12月26日)
第116期	(決算日 2026年1月26日)
第117期	(決算日 2026年2月26日)

年2回決算型 第20期 (決算日 2026年2月26日)
(作成対象期間 2025年8月27日~2026年2月26日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合	
信託期間	2016年3月1日~2031年2月26日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券(米ドル建)	
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3292>
<3293>
<5692>
<5693>

（毎月分配型）為替ヘッジあり

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公社債比率	純資産額
	(分配落)	税金配込	期騰落	中率		
	円	円		%	%	百万円
88 期末 (2023年 9 月26日)	4,857	60	△	4.9	97.6	3,581
89 期末 (2023年10月26日)	4,376	60	△	8.7	98.7	3,183
90 期末 (2023年11月27日)	4,857	60		12.4	96.6	3,512
91 期末 (2023年12月26日)	5,297	60		10.3	96.9	3,763
92 期末 (2024年 1 月26日)	5,044	60	△	3.6	97.5	3,551
93 期末 (2024年 2 月26日)	4,948	60	△	0.7	98.5	3,320
94 期末 (2024年 3 月26日)	4,870	60	△	0.4	98.0	3,220
95 期末 (2024年 4 月26日)	4,532	60	△	5.7	99.6	2,960
96 期末 (2024年 5 月27日)	4,560	60		1.9	98.7	2,869
97 期末 (2024年 6 月26日)	4,577	60		1.7	98.7	2,790
98 期末 (2024年 7 月26日)	4,776	60		5.7	95.4	2,785
99 期末 (2024年 8 月26日)	5,065	60		7.3	99.6	2,868
100 期末 (2024年 9 月26日)	5,158	60		3.0	98.9	2,900
101 期末 (2024年10月28日)	4,998	60	△	1.9	98.9	2,744
102 期末 (2024年11月26日)	5,000	60		1.2	98.7	2,760
103 期末 (2024年12月26日)	4,539	60	△	8.0	103.5	2,531
104 期末 (2025年 1 月27日)	4,527	60		1.1	97.1	2,506
105 期末 (2025年 2 月26日)	4,557	60		2.0	96.8	2,489
106 期末 (2025年 3 月26日)	4,326	60	△	3.8	98.8	2,345
107 期末 (2025年 4 月28日)	4,102	60	△	3.8	97.4	2,153
108 期末 (2025年 5 月26日)	4,079	60		0.9	97.9	2,137
109 期末 (2025年 6 月26日)	4,095	60		1.9	97.5	2,107
110 期末 (2025年 7 月28日)	4,190	60		3.8	99.9	2,187
111 期末 (2025年 8 月26日)	4,098	60	△	0.8	100.1	2,053
112 期末 (2025年 9 月26日)	3,955	60	△	2.0	99.6	1,966
113 期末 (2025年10月27日)	3,981	60		2.2	102.4	1,924
114 期末 (2025年11月26日)	3,799	60	△	3.1	98.0	1,824
115 期末 (2025年12月26日)	3,691	60	△	1.3	99.5	1,737
116 期末 (2026年 1 月26日)	3,674	60		1.2	98.4	1,698
117 期末 (2026年 2 月26日)	3,756	40		3.3	99.2	1,687

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

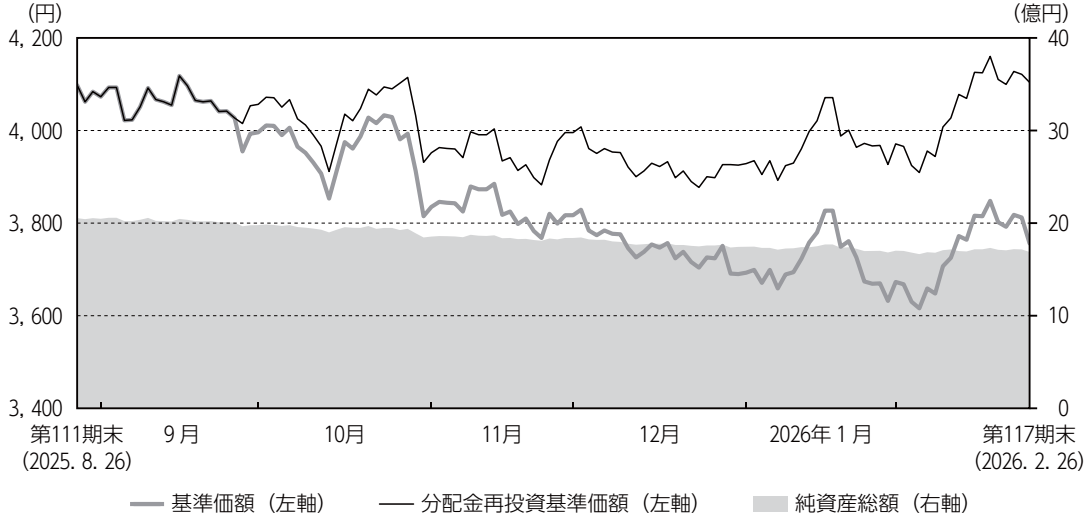
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第112期首：4,098円

第117期末：3,756円（既払分配金340円）

騰落率：0.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国バンクローン市況と米国リート市況はともに上昇したものの、為替ヘッジコスト等がマイナス要因となったことなどから、基準価額はほぼ横ばいでした（分配金再投資ベース）。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 社 入 比 債 率
		円	騰 落 率	
第112期	(期首) 2025年8月26日	4,098	—	100.1
	8月末	4,073	△ 0.6	97.4
	(期末) 2025年9月26日	4,015	△ 2.0	99.6
第113期	(期首) 2025年9月26日	3,955	—	99.6
	9月末	3,996	1.0	99.4
	(期末) 2025年10月27日	4,041	2.2	102.4
第114期	(期首) 2025年10月27日	3,981	—	102.4
	10月末	3,835	△ 3.7	98.9
	(期末) 2025年11月26日	3,859	△ 3.1	98.0
第115期	(期首) 2025年11月26日	3,799	—	98.0
	11月末	3,817	0.5	97.8
	(期末) 2025年12月26日	3,751	△ 1.3	99.5
第116期	(期首) 2025年12月26日	3,691	—	99.5
	12月末	3,693	0.1	99.1
	(期末) 2026年1月26日	3,734	1.2	98.4
第117期	(期首) 2026年1月26日	3,674	—	98.4
	1月末	3,673	△ 0.0	97.5
	(期末) 2026年2月26日	3,796	3.3	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

■米国リート市況

米国リート市場は上昇しました。

米国リート市場は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる混乱や米中関係の緊迫化を背景に、上下動を繰り返しました。しかし当作成期末にかけては、AI（人工知能）による代替が進みにくい業態であることに加え、米国長期金利の低下が追い風となり、上昇基調へと転じました。

■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

米国バンクローン市場は、ファンダメンタルズと需給の両面で底堅さが続く中、バンクローンによる安定したインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

■短期金利市況

日銀は、2025年12月に、政策金利である無担保コールレート（オーバーナイト物）を0.75%程度に引き上げました。一方、米国では、同時期に政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が3.50~3.75%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

(ご参考) 「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	5.69	2031/1/27	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	5.00	2028/2/1	1.2%
GREENEDEN U.S. HOLDINGS II, LLC	バンクローン	米ドル	6.22	2032/1/30	1.0%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	7.83	2028/8/21	0.9%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	5.72	2031/8/1	0.9%
HUB INTERNATIONAL LIMITED	バンクローン	米ドル	5.92	2030/6/20	0.9%
ADIANT GLOBAL HOLDINGS LTD	バンクローン	米ドル	5.97	2031/1/31	0.8%
AHEAD DB HOLDINGS LLC	バンクローン	米ドル	6.17	2031/2/1	0.8%
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	バンクローン	米ドル	6.34	2031/2/10	0.8%
STAPLES, INC	バンクローン	米ドル	9.60	2029/9/4	0.8%

(注1) 上記データは2026年1月30日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

※利率の値は、小数第3位を四捨五入して表示しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	2025年8月27日 ～2025年9月26日	2025年9月27日 ～2025年10月27日	2025年10月28日 ～2025年11月26日	2025年11月27日 ～2025年12月26日	2025年12月27日 ～2026年1月26日	2026年1月27日 ～2026年2月26日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	40
対基準価額比率 (%)	1.49	1.48	1.55	1.60	1.61	1.05
当期の収益 (円)	45	47	45	43	38	40
当期の収益以外 (円)	14	12	14	16	21	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,145	3,132	3,117	3,101	3,079	3,081

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 45.54円	✓ 47.15円	✓ 45.08円	✓ 43.52円	✓ 38.20円	✓ 41.80円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 3,159.85	✓ 3,145.55	✓ 3,132.86	✓ 3,117.98	✓ 3,101.50	3,079.72
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,205.39	3,192.71	3,177.95	3,161.50	3,139.71	3,121.52
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,145.39	3,132.71	3,117.95	3,101.50	3,079.71	3,081.52

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M
トラスト 2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する
債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実
質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第112期～第117期 (2025. 8. 27～2026. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	24円	0.624%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,848円です。
（投 信 会 社）	(7)	(0.193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(16)	(0.415)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	25	0.638	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

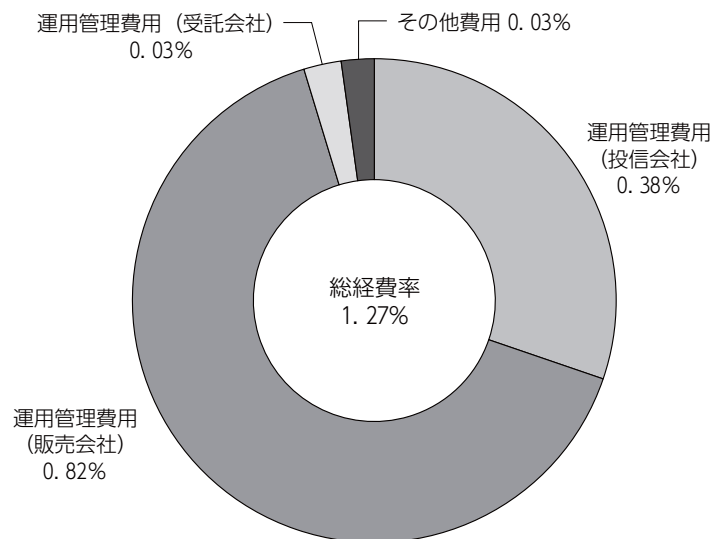
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。
純資産総額に対して年率0.604%程度、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公 社 債

(2025年8月27日から2026年2月26日まで)

決 算 期			第 112 期 ～ 第 117 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社 債 券	千アメリカ・ドル 348	千アメリカ・ドル 2,967 (—)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2025年8月27日から2026年2月26日まで)

第 112 期 ～ 第 117 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 53,965	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 456,276

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	作成期	第 117 期 末							
		額面金額	評 価 額		組入比率	うちBＢ格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
			外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 21,400	千アメリカ・ドル 10,721	千円 1,674,253	% 99.2	% —	% —	% 99.2	% —	

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 117 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 21,400	千アメリカ・ドル 10,721	千円 1,674,253	2029/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2026年2月26日現在

項 目	第 117 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,674,253	96.8
コール・ローン等、その他	55,699	3.2
投資信託財産総額	1,729,953	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝156.16円です。

(注3) 第117期末における外貨建純資産（1,690,983千円）の投資信託財産総額（1,729,953千円）に対する比率は、97.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年9月26日)、(2025年10月27日)、(2025年11月26日)、(2025年12月26日)、(2026年1月26日)、(2026年2月26日) 現在

項 目	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末
(A) 資産	3,965,129,538円	3,983,861,485円	3,715,719,666円	3,511,722,963円	3,393,353,107円	3,423,067,057円
コール・ローン等	63,333,781	55,664,052	52,818,742	49,953,273	49,678,133	38,073,805
公社債（評価額）	1,957,959,014	1,970,757,810	1,788,658,802	1,728,426,011	1,672,421,810	1,674,253,824
未収入金	1,942,825,390	1,956,233,965	1,872,849,008	1,731,782,124	1,669,526,093	1,708,848,128
その他未収収益	1,011,353	1,205,658	1,393,114	1,561,555	1,727,071	1,891,300
(B) 負債	1,998,685,971	2,059,399,115	1,891,127,692	1,774,673,743	1,694,558,926	1,735,167,699
未払金	1,964,873,735	2,028,303,035	1,859,683,930	1,739,165,975	1,664,917,706	1,712,745,015
未払収益分配金	29,831,939	29,006,134	28,814,607	28,238,265	27,741,298	17,974,016
未払解約金	1,819,239	—	698,603	5,387,087	—	2,570,754
未払信託報酬	2,146,825	2,062,038	1,890,111	1,829,844	1,835,183	1,795,339
その他未払費用	14,233	27,908	40,441	52,572	64,739	82,575
(C) 純資産総額（A－B）	1,966,443,567	1,924,462,370	1,824,591,974	1,737,049,220	1,698,794,181	1,687,899,358
元本	4,971,989,872	4,834,355,676	4,802,434,592	4,706,377,590	4,623,549,718	4,493,504,217
次期繰越損益金	△ 3,005,546,305	△ 2,909,893,306	△ 2,977,842,618	△ 2,969,328,370	△ 2,924,755,537	△ 2,805,604,859
(D) 受益権総口数	4,971,989,872口	4,834,355,676口	4,802,434,592口	4,706,377,590口	4,623,549,718口	4,493,504,217口
1万口当り基準価額（C/D）	3,955円	3,981円	3,799円	3,691円	3,674円	3,756円

* 当作成期首における元本額は5,012,195,804円、当作成期間（第112期～第117期）中における追加設定元本額は171,585,428円、同解約元本額は690,277,015円です。

* 第117期末の計算口数当りの純資産額は3,756円です。

* 第117期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,805,604,859円です。

■損益の状況

第112期 自2025年8月27日 至2025年9月26日 第114期 自2025年10月28日 至2025年11月26日 第116期 自2025年12月27日 至2026年1月26日
 第113期 自2025年9月27日 至2025年10月27日 第115期 自2025年11月27日 至2025年12月26日 第117期 自2026年1月27日 至2026年2月26日

項目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(A) 配当等収益	24,838,555円	23,960,008円	23,586,618円	22,357,698円	19,318,718円	19,416,185円
受取利息	24,654,395	23,770,069	23,401,325	22,193,195	19,155,205	19,255,797
その他収益	184,160	189,939	185,293	164,503	163,513	160,388
(B) 有価証券売買損益	△ 63,640,397	19,540,387	△ 79,688,149	△ 43,274,236	2,613,126	37,300,994
売買益	37,996,851	91,856,740	56,098,032	14,158,952	22,643,248	57,087,857
売買損	△ 101,637,248	△ 72,316,353	△ 135,786,181	△ 57,433,188	△ 20,030,122	△ 19,786,863
(C) 信託報酬等	△ 2,193,590	△ 2,109,411	△ 1,933,087	△ 1,875,276	△ 1,877,009	△ 1,844,948
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 40,995,432	41,390,984	△ 58,034,618	△ 22,791,814	20,054,835	54,872,231
(E) 前期繰越損益金	△ 1,727,971,403	△ 1,729,703,941	△ 1,685,111,522	△ 1,721,782,703	△ 1,726,907,497	△ 1,668,945,565
(F) 追加信託差損益金	△ 1,206,747,531	△ 1,192,574,215	△ 1,205,881,871	△ 1,196,515,588	△ 1,190,161,577	△ 1,173,557,509
(配当等相当額)	(1,571,075,350)	(1,520,674,228)	(1,504,539,227)	(1,467,440,539)	(1,433,995,921)	(1,383,875,684)
(売買損益相当額)	(△ 2,777,822,881)	(△ 2,713,248,443)	(△ 2,710,421,098)	(△ 2,663,956,127)	(△ 2,624,157,498)	(△ 2,557,433,193)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,975,714,366	△ 2,880,887,172	△ 2,949,028,011	△ 2,941,090,105	△ 2,897,014,239	△ 2,787,630,843
(H) 収益分配金	△ 29,831,939	△ 29,006,134	△ 28,814,607	△ 28,238,265	△ 27,741,298	△ 17,974,016
次期繰越損益金 (G + H)	△ 3,005,546,305	△ 2,909,893,306	△ 2,977,842,618	△ 2,969,328,370	△ 2,924,755,537	△ 2,805,604,859
追加信託差損益金	△ 1,213,934,505	△ 1,198,782,205	△ 1,213,042,947	△ 1,204,271,431	△ 1,200,237,614	△ 1,173,557,509
(配当等相当額)	(1,563,888,376)	(1,514,466,238)	(1,497,378,151)	(1,459,684,696)	(1,423,919,884)	(1,383,875,684)
(売買損益相当額)	(△ 2,777,822,881)	(△ 2,713,248,443)	(△ 2,710,421,098)	(△ 2,663,956,127)	(△ 2,624,157,498)	(△ 2,557,433,193)
分配準備積立金	—	—	—	—	—	810,643
繰越損益金	△ 1,791,611,800	△ 1,711,111,101	△ 1,764,799,671	△ 1,765,056,939	△ 1,724,517,923	△ 1,632,857,993

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,644,965円	22,798,144円	21,653,531円	20,482,422円	17,665,261円	18,784,659円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,571,075,350	1,520,674,228	1,504,539,227	1,467,440,539	1,433,995,921	1,383,875,684
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,593,720,315	1,543,472,372	1,526,192,758	1,487,922,961	1,451,661,182	1,402,660,343
(f) 分配金	29,831,939	29,006,134	28,814,607	28,238,265	27,741,298	17,974,016
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,563,888,376	1,514,466,238	1,497,378,151	1,459,684,696	1,423,919,884	1,384,686,327
(h) 受益権総口数	4,971,989,872□	4,834,355,676□	4,802,434,592□	4,706,377,590□	4,623,549,718□	4,493,504,217□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金（税込み）	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
		60円	60円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（毎月分配型）為替ヘッジなし

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公社債比率	純資産額
	(分配落)	税金配込	期騰落	中率		
	円	円		%	%	百万円
88 期末 (2023年 9月26日)	7,173	80	△	2.9	98.7	47,532
89 期末 (2023年10月26日)	6,565	80	△	7.4	98.3	43,126
90 期末 (2023年11月27日)	7,288	80		12.2	96.9	46,426
91 期末 (2023年12月26日)	7,643	80		6.0	98.5	47,620
92 期末 (2024年 1月26日)	7,611	80		0.6	99.0	46,604
93 期末 (2024年 2月26日)	7,647	80		1.5	98.3	45,310
94 期末 (2024年 3月26日)	7,630	80		0.8	98.9	43,755
95 期末 (2024年 4月26日)	7,361	80	△	2.5	98.7	40,757
96 期末 (2024年 5月27日)	7,512	80		3.1	99.6	41,127
97 期末 (2024年 6月26日)	7,729	80		4.0	99.1	40,390
98 期末 (2024年 7月26日)	7,838	80		2.4	99.0	39,774
99 期末 (2024年 8月26日)	7,788	80		0.4	99.0	38,957
100 期末 (2024年 9月26日)	8,044	80		4.3	98.7	39,837
101 期末 (2024年10月28日)	8,323	80		4.5	98.7	41,112
102 期末 (2024年11月26日)	8,418	80		2.1	98.7	40,923
103 期末 (2024年12月26日)	7,856	80	△	5.7	99.3	37,101
104 期末 (2025年 1月27日)	7,824	80		0.6	98.9	36,549
105 期末 (2025年 2月26日)	7,598	80	△	1.9	98.9	34,996
106 期末 (2025年 3月26日)	7,309	80	△	2.8	98.9	34,224
107 期末 (2025年 4月28日)	6,670	80	△	7.6	99.1	30,920
108 期末 (2025年 5月26日)	6,626	80		0.5	98.5	30,357
109 期末 (2025年 6月26日)	6,789	80		3.7	99.0	30,391
110 期末 (2025年 7月28日)	7,135	80		6.3	99.1	31,408
111 期末 (2025年 8月26日)	6,995	80	△	0.8	99.1	30,322
112 期末 (2025年 9月26日)	6,920	80		0.1	98.9	29,566
113 期末 (2025年10月27日)	7,157	80		4.6	99.2	29,695
114 期末 (2025年11月26日)	7,034	80	△	0.6	98.9	28,587
115 期末 (2025年12月26日)	6,889	80	△	0.9	99.0	27,429
116 期末 (2026年 1月26日)	6,839	80		0.4	98.8	26,612
117 期末 (2026年 2月26日)	7,062	80		4.4	98.8	27,051

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

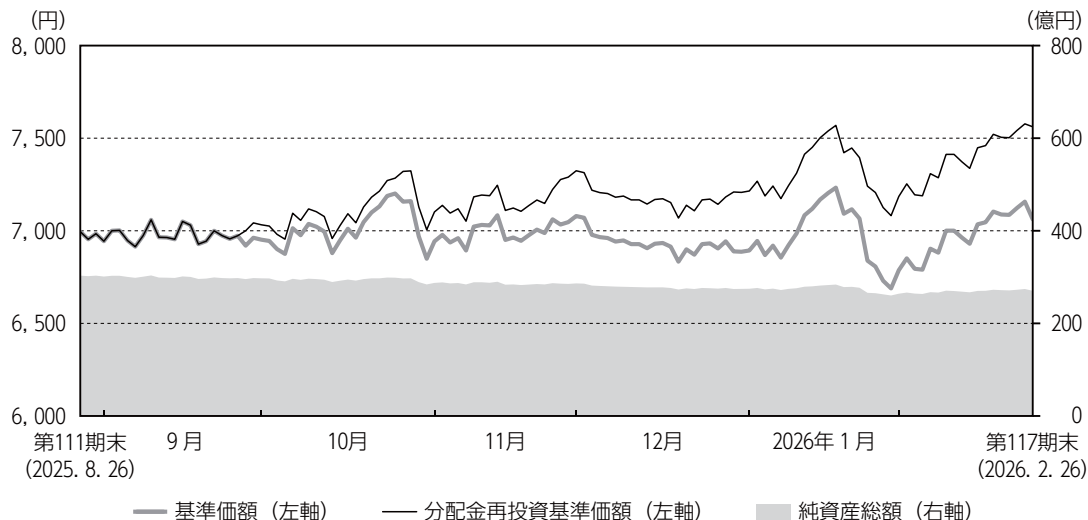
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第112期首：6,995円

第117期末：7,062円（既払分配金480円）

騰落率：8.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米国バンクローン市況と米国リート市況がともに上昇したほか、米ドルが対円で上昇（円安）したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %	
第112期	(期首) 2025年8月26日	6,995	—	99.1
	8月末	6,944	△ 0.7	99.1
	(期末) 2025年9月26日	7,000	0.1	98.9
第113期	(期首) 2025年9月26日	6,920	—	98.9
	9月末	6,952	0.5	98.8
	(期末) 2025年10月27日	7,237	4.6	99.2
第114期	(期首) 2025年10月27日	7,157	—	99.2
	10月末	6,943	△ 3.0	99.3
	(期末) 2025年11月26日	7,114	△ 0.6	98.9
第115期	(期首) 2025年11月26日	7,034	—	98.9
	11月末	7,080	0.7	99.4
	(期末) 2025年12月26日	6,969	△ 0.9	99.0
第116期	(期首) 2025年12月26日	6,889	—	99.0
	12月末	6,894	0.1	98.9
	(期末) 2026年1月26日	6,919	0.4	98.8
第117期	(期首) 2026年1月26日	6,839	—	98.8
	1月末	6,787	△ 0.8	98.8
	(期末) 2026年2月26日	7,142	4.4	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

■米国リート市況

米国リート市場は上昇しました。

米国リート市場は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる混乱や米中関係の緊迫化を背景に、上下動を繰り返しました。しかし当作成期末にかけては、AI（人工知能）による代替が進みにくい業態であることに加え、米国長期金利の低下が追い風となり、上昇基調へと転じました。

■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

米国バンクローン市場は、ファンダメンタルズと需給の両面で底堅さが続く中、バンクローンによる安定したインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、おおむねレンジでの推移が継続しましたが、2025年10月から11月半ばにかけて、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国財務長官の強い米ドル政策を支持する発言が米ドル高要因となった一方で、米ドル離れの思惑や市場予想を下回る米国の経済指標が米ドル安要因となり、米ドル円は上下に振れる展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

(ご参考) 「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	5.69	2031/1/27	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	5.00	2028/2/1	1.2%
GREENEDEN U. S. HOLDINGS II, LLC	バンクローン	米ドル	6.22	2032/1/30	1.0%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	7.83	2028/8/21	0.9%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	5.72	2031/8/1	0.9%
HUB INTERNATIONAL LIMITED	バンクローン	米ドル	5.92	2030/6/20	0.9%
ADIENT GLOBAL HOLDINGS LTD	バンクローン	米ドル	5.97	2031/1/31	0.8%
AHEAD DB HOLDINGS LLC	バンクローン	米ドル	6.17	2031/2/1	0.8%
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	バンクローン	米ドル	6.34	2031/2/10	0.8%
STAPLES, INC	バンクローン	米ドル	9.60	2029/9/4	0.8%

(注1) 上記データは2026年1月30日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

※利率の値は、小数第3位を四捨五入して表示しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	2025年8月27日 ～2025年9月26日	2025年9月27日 ～2025年10月27日	2025年10月28日 ～2025年11月26日	2025年11月27日 ～2025年12月26日	2025年12月27日 ～2026年1月26日	2026年1月27日 ～2026年2月26日
当期分配金(税込み) (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	1.14	1.11	1.12	1.15	1.16	1.12
当期の収益 (円)	79	80	80	80	69	78
当期の収益以外 (円)	0	—	—	—	10	1
翌期繰越分配対象額 (円)	3,257	3,262	3,264	3,266	3,256	3,255

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 79.55円	✓ 84.39円	✓ 82.26円	✓ 82.35円	✓ 69.40円	✓ 78.34円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,800.16	2,801.87	2,803.17	2,804.47	2,806.60	2,809.72
(d) 分配準備積立金	✓ 457.77	455.76	458.95	460.01	✓ 460.43	✓ 446.93
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,337.50	3,342.03	3,344.39	3,346.84	3,336.44	3,335.00
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,257.50	3,262.03	3,264.39	3,266.84	3,256.44	3,255.00

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M
トラスト 2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラス」の値動きに80%程度連動する
債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実
質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第112期～第117期 (2025. 8. 27～2026. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	44円	0.625%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,979円です。
（投 信 会 社）	(14)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(29)	(0.415)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.011	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	44	0.636	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

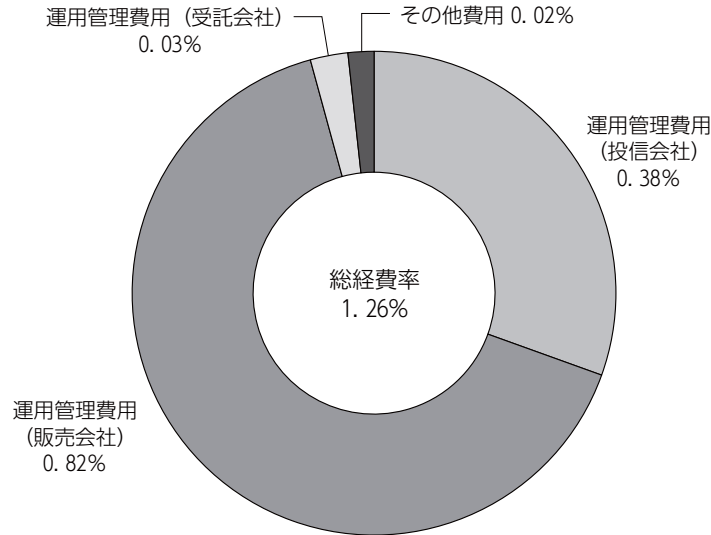
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。
純資産総額に対して年率0.604%程度、その他各種費用等

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

■売買および取引の状況

公社債

(2025年8月27日から2026年2月26日まで)

決算期			第 112 期 ～ 第 117 期	
			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 7,701	千アメリカ・ドル 31,312 (—)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2025年8月27日から2026年2月26日まで)

第 112 期 ～ 第 117 期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 1,185,498	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 4,829,272

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	第 117 期 末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 341,520	千アメリカ・ドル 171,101	千円 26,719,213	% 98.8	% —	% —	% 98.8	% —

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 117 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 341,520	千アメリカ・ドル 171,101	千円 26,719,213	2029/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2026年2月26日現在

項 目	第 117 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	26,719,213	97.5
コール・ローン等、その他	690,646	2.5
投資信託財産総額	27,409,859	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝156.16円です。

(注3) 第117期末における外貨建純資産（26,728,224千円）の投資信託財産総額（27,409,859千円）に対する比率は、97.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年9月26日)、(2025年10月27日)、(2025年11月26日)、(2025年12月26日)、(2026年1月26日)、(2026年2月26日)現在

項 目	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末
(A) 資産	29,948,794,361円	30,247,584,183円	28,983,276,489円	27,798,158,142円	27,407,532,949円	27,409,859,560円
コール・ローン等	685,592,159	785,844,621	685,041,859	613,793,547	681,034,513	662,506,832
公社債（評価額）	29,248,542,433	29,444,229,738	28,277,917,982	27,161,415,263	26,291,076,247	26,719,213,363
未収入金	—	—	—	—	409,905,904	—
その他未収収益	14,659,769	17,509,824	20,316,648	22,949,332	25,516,285	28,139,365
(B) 負債	382,580,800	552,406,154	395,298,261	369,120,657	794,939,011	357,942,982
未払金	—	—	—	—	201,270,550	—
未払収益分配金	341,789,028	331,906,115	325,119,218	318,533,637	311,290,798	306,455,131
未払解約金	8,914,030	188,991,185	40,353,210	21,347,458	252,259,072	22,097,531
未払信託報酬	31,692,921	31,139,774	29,278,691	28,515,958	29,207,308	28,286,008
その他未払費用	184,821	369,080	547,142	723,604	911,283	1,104,312
(C) 純資産総額（A－B）	29,566,213,561	29,695,178,029	28,587,978,228	27,429,037,485	26,612,593,938	27,051,916,578
元本	42,723,628,589	41,488,264,376	40,639,902,338	39,816,704,747	38,911,349,808	38,306,891,453
次期繰越損益金	△ 13,157,415,028	△ 11,793,086,347	△ 12,051,924,110	△ 12,387,667,262	△ 12,298,755,870	△ 11,254,974,875
(D) 受益権総口数	42,723,628,589口	41,488,264,376口	40,639,902,338口	39,816,704,747口	38,911,349,808口	38,306,891,453口
1万口当り基準価額（C/D）	6,920円	7,157円	7,034円	6,889円	6,839円	7,062円

* 当作成期首における元本額は43,352,115,806円、当作成期間（第112期～第117期）中における追加設定元本額は904,474,322円、同解約元本額は5,949,698,675円です。

* 第117期末の計算口数当りの純資産額は7,062円です。

* 第117期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は11,254,974,875円です。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

■損益の状況

	第112期 自2025年8月27日 第113期 自2025年9月27日	至2025年9月26日 至2025年10月27日	第114期 自2025年10月28日 第115期 自2025年11月27日	至2025年11月26日 至2025年12月26日	第116期 自2025年12月27日 第117期 自2026年1月27日	至2026年1月26日 至2026年2月26日
項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(A) 配当等収益	372,131,939円	358,592,436円	364,143,175円	356,956,755円	299,797,898円	307,568,329円
受取利息	369,457,228	355,799,703	361,392,356	354,358,572	297,295,743	304,994,363
その他収益金	2,674,711	2,792,733	2,750,819	2,598,183	2,502,155	2,573,966
(B) 有価証券売買損益	△ 515,030,249	987,301,360	△ 508,363,255	△ 588,669,093	△ 153,626,520	878,451,143
売買益	333,324,859	996,954,570	665,280,968	33,060,068	131,175,062	890,334,489
売買損	△ 848,355,108	△ 9,653,210	△ 1,173,644,223	△ 621,729,161	△ 284,801,582	△ 11,883,346
(C) 信託報酬等	△ 32,224,766	△ 31,673,029	△ 29,812,397	△ 29,042,731	△ 29,736,748	△ 28,812,954
(D) 当期繰越損益 (A + B + C)	24,876,924	1,314,220,767	△ 174,032,477	△ 260,755,069	116,434,630	1,157,206,518
(E) 前期繰越損益金	△ 8,572,079,156	△ 8,602,245,635	△ 7,444,546,353	△ 7,762,456,645	△ 8,118,021,389	△ 8,130,904,942
(F) 追加信託差損益金	△ 4,268,423,768	△ 4,173,155,364	△ 4,108,226,062	△ 4,045,921,911	△ 3,985,878,313	△ 3,974,821,320
(配当等相当額)	(11,963,339,795)	(11,624,495,237)	(11,392,057,098)	(11,166,498,196)	(10,920,878,621)	(10,763,172,915)
(売買損益相当額)	(△ 16,231,763,563)	(△ 15,797,650,601)	(△ 15,500,283,160)	(△ 15,212,420,107)	(△ 14,906,756,934)	(△ 14,737,994,235)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 12,815,626,000	△ 11,461,180,232	△ 11,726,804,892	△ 12,069,133,625	△ 11,987,465,072	△ 10,948,519,744
(H) 収益分配金	△ 341,789,028	△ 331,906,115	△ 325,119,218	△ 318,533,637	△ 311,290,798	△ 306,455,131
次期繰越損益金 (G + H)	△ 13,157,415,028	△ 11,793,086,347	△ 12,051,924,110	△ 12,387,667,262	△ 12,298,755,870	△ 11,254,974,875
追加信託差損益金	△ 4,268,423,768	△ 4,173,155,364	△ 4,108,226,062	△ 4,045,921,911	△ 3,985,878,313	△ 3,974,821,320
(配当等相当額)	(11,963,339,795)	(11,624,495,237)	(11,392,057,098)	(11,166,498,196)	(10,920,878,621)	(10,763,172,915)
(売買損益相当額)	(△ 16,231,763,563)	(△ 15,797,650,601)	(△ 15,500,283,160)	(△ 15,212,420,107)	(△ 14,906,756,934)	(△ 14,737,994,235)
分配準備積立金	1,953,905,949	1,909,124,480	1,874,394,553	1,841,009,230	1,750,404,076	1,705,728,946
繰越損益金	△ 10,842,897,209	△ 9,529,055,463	△ 9,818,092,601	△ 10,182,754,581	△ 10,063,281,633	△ 8,985,882,501

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(a) 経費控除後の配当等収益	339,907,173円	350,154,741円	334,330,778円	327,914,024円	270,061,150円	300,097,130円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	11,963,339,795	11,624,495,237	11,392,057,098	11,166,498,196	10,920,878,621	10,763,172,915
(d) 分配準備積立金	1,955,787,804	1,890,875,854	1,865,182,993	1,831,628,843	1,791,633,724	1,712,086,947
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	14,259,034,772	13,865,525,832	13,591,570,869	13,326,041,063	12,982,573,495	12,775,356,992
(f) 分配金	341,789,028	331,906,115	325,119,218	318,533,637	311,290,798	306,455,131
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	13,917,245,744	13,533,619,717	13,266,451,651	13,007,507,426	12,671,282,697	12,468,901,861
(h) 受益権総口数	42,723,628,589□	41,488,264,376□	40,639,902,338□	39,816,704,747□	38,911,349,808□	38,306,891,453□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	80円	80円	80円	80円	80円	80円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（年2回決算型）為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落	中 率		
16期末 (2024年2月26日)	円 8,169	円 100		% 2.8	% 97.9	百万円 677
17期末 (2024年8月26日)	8,954	50		10.2	99.6	572
18期末 (2025年2月26日)	8,633	50	△	3.0	97.4	472
19期末 (2025年8月26日)	8,429	50	△	1.8	99.2	402
20期末 (2026年2月26日)	8,387	50		0.1	99.8	356

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

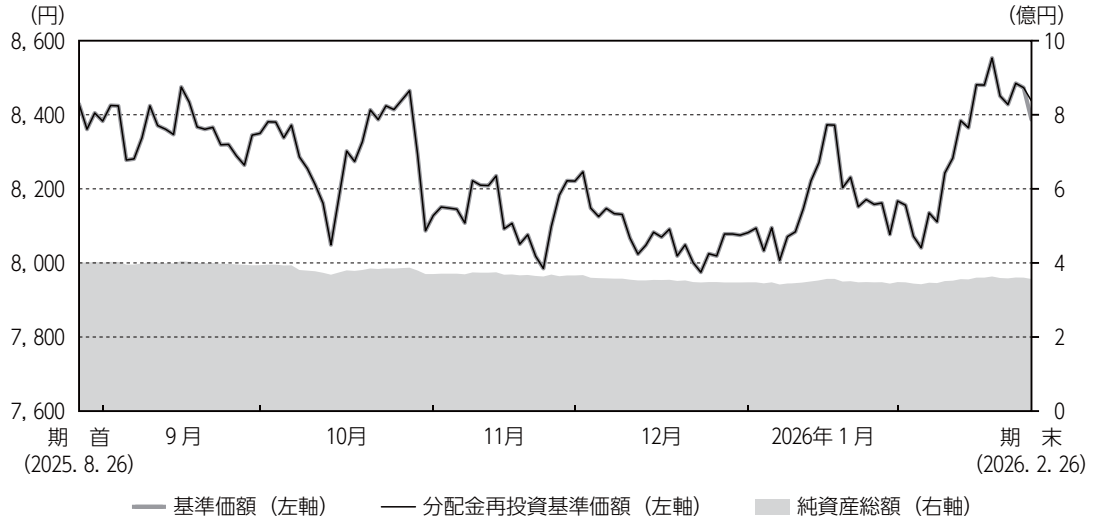
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：8,429円

期末：8,387円（分配金50円）

騰落率：0.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国バンクローン市況と米国リート市況はともに上昇したものの、為替ヘッジコスト等がマイナス要因となったことなどから、基準価額はほぼ横ばいでした。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジあり

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2025年 8月26日	8,429	—	99.2 %
8月末	8,383	△ 0.5	97.6
9月末	8,350	△ 0.9	100.6
10月末	8,128	△ 3.6	100.0
11月末	8,221	△ 2.5	98.1
12月末	8,082	△ 4.1	99.1
2026年 1月末	8,167	△ 3.1	97.7
(期 末) 2026年 2月26日	8,437	0.1	99.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

■米国リート市況

米国リート市場は上昇しました。

米国リート市場は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる混乱や米中関係の緊迫化を背景に、上下動を繰り返しました。しかし当作成期末にかけては、AI（人工知能）による代替が進みにくい業態であることに加え、米国長期金利の低下が追い風となり、上昇基調へと転じました。

■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

米国バンクローン市場は、ファンダメンタルズと需給の両面で底堅さが続く中、バンクローンによる安定したインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

■短期金利市況

日銀は、2025年12月に、政策金利である無担保コールレート（オーバーナイト物）を0.75%程度に引き上げました。一方、米国では、同時期に政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が3.50~3.75%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

（2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

（ご参考）「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	5.69	2031/1/27	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	5.00	2028/2/1	1.2%
GREENEDEN U. S. HOLDINGS II, LLC	バンクローン	米ドル	6.22	2032/1/30	1.0%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	7.83	2028/8/21	0.9%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	5.72	2031/8/1	0.9%
HUB INTERNATIONAL LIMITED	バンクローン	米ドル	5.92	2030/6/20	0.9%
ADIANT GLOBAL HOLDINGS LTD	バンクローン	米ドル	5.97	2031/1/31	0.8%
AHEAD DB HOLDINGS LLC	バンクローン	米ドル	6.17	2031/2/1	0.8%
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	バンクローン	米ドル	6.34	2031/2/10	0.8%
STAPLES, INC	バンクローン	米ドル	9.60	2029/9/4	0.8%

（注1）上記データは2026年1月30日の前営業日現在のものです。

（注2）比率は「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

※利率の値は、小数第3位を四捨五入して表示しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年8月27日 ～2026年2月26日	
当期分配金（税込み）	（円）	50
対基準価額比率	（％）	0.59
当期の収益	（円）	50
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	7,740

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 555.19円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	3,381.31
(d) 分配準備積立金	3,853.65
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	7,790.16
(f) 分配金	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	7,740.16

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド US Dクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 8. 27~2026. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.626%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,229円です。
（投 信 会 社）	(16)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(34)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.023	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.650	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

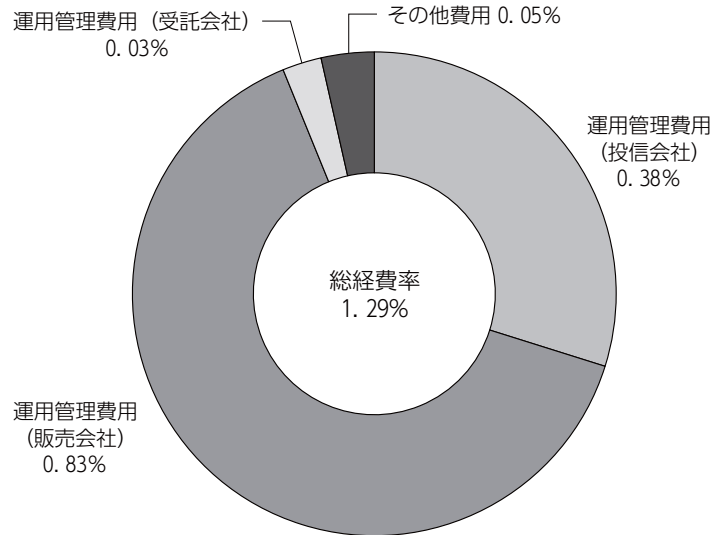
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.29%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。
純資産総額に対して年率0.604%程度、その他各種費用等

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジあり

■売買および取引の状況

公社債

(2025年8月27日から2026年2月26日まで)

		買付額	売付額
		千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外国	アメリカ社債券	149	461 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未满是切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2025年8月27日から2026年2月26日まで)

当		期	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
		千円	
Star Helios Plc（アイルランド）- floating - 2029/1/19	22,982	Star Helios Plc（アイルランド）- floating - 2029/1/19	71,348

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未满是切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 4,550	千アメリカ・ドル 2,279	千円 355,974	% 99.8	% —	% —	% 99.8	% —

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未满是切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期 末			評 価 額		償還年月日
		種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	4,550	2,279	355,974	2029/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2026年2月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	355,974	97.5
コール・ローン等、その他	9,295	2.5
投資信託財産総額	365,270	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝156.16円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（356,047千円）の投資信託財産総額（365,270千円）に対する比率は、97.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年2月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	718,690,194円
コール・ローン等	9,059,245
公社債（評価額）	355,974,528
未収入金	353,419,938
その他未収収益	236,483
(B) 負債	362,059,008
未払金	357,601,763
未払収益分配金	2,126,040
未払信託報酬	2,310,028
その他未払費用	21,177
(C) 純資産総額（A－B）	356,631,186
元本	425,208,182
次期繰越損益金	△ 68,576,996
(D) 受益権総口数	425,208,182口
1万口当り基準価額（C／D）	8,387円

* 期首における元本額は477,787,364円、当作成期間中における追加設定元本額は2,962,697円、同解約元本額は55,541,879円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,387円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は68,576,996円です。

■損益の状況

当期 自2025年8月27日 至2026年2月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	26,003,161円
受取利息	25,791,990
その他収益金	211,171
(B) 有価証券売買損益	△ 23,223,662
売買益	29,971,375
売買損	53,195,037
(C) 信託報酬等	△ 2,396,023
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	383,476
(E) 前期繰越損益金	△ 76,203,408
(F) 追加信託差損益金	9,368,976
(配当等相当額)	(143,776,484)
(売買損益相当額)	(△ 134,407,508)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 66,450,956
(H) 収益分配金	△ 2,126,040
次期繰越損益金（G＋H）	△ 68,576,996
追加信託差損益金	9,368,976
(配当等相当額)	(143,776,484)
(売買損益相当額)	(△ 134,407,508)
分配準備積立金	185,341,774
繰越損益金	△ 263,287,746

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	23,607,138円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	143,776,484
(d) 分配準備積立金	163,860,676
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	331,244,298
(f) 分配金	2,126,040
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	329,118,258
(h) 受益権総口数	425,208,182口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（年2回決算型）為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落	中 率		
16期末 (2024年 2月26日)	円 12,164	円 350		% 9.4	% 99.4	百万円 3,940
17期末 (2024年 8月26日)	12,833	350		8.4	98.7	3,526
18期末 (2025年 2月26日)	12,948	350		3.6	98.8	3,501
19期末 (2025年 8月26日)	12,480	300	△	1.3	98.7	3,044
20期末 (2026年 2月26日)	13,200	300		8.2	99.1	2,864

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

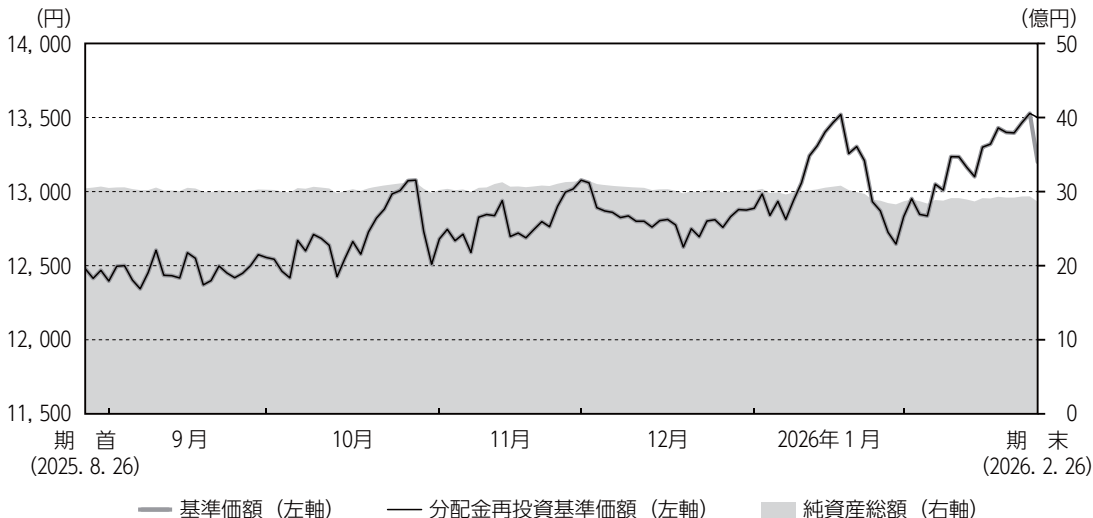
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：12,480円

期末：13,200円（分配金300円）

騰落率：8.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米国バンクローン市況と米国リート市況がともに上昇したほか、米ドルが対円で上昇（円安）したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジなし

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2025年 8月26日	12,480	—	98.7 %
8月末	12,397	△ 0.7	97.9
9月末	12,555	0.6	99.3
10月末	12,681	1.6	99.3
11月末	13,077	4.8	98.2
12月末	12,887	3.3	99.5
2026年 1月末	12,832	2.8	98.6
(期 末) 2026年 2月26日	13,500	8.2	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

■米国リート市況

米国リート市場は上昇しました。

米国リート市場は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる混乱や米中関係の緊迫化を背景に、上下動を繰り返しました。しかし当作成期末にかけては、AI（人工知能）による代替が進みにくい業態であることに加え、米国長期金利の低下が追い風となり、上昇基調へと転じました。

■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

米国バンクローン市場は、ファンダメンタルズと需給の両面で底堅さが続く中、バンクローンによる安定したインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、おおむねレンジでの推移が継続しましたが、2025年10月から11月半ばにかけて、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国財務長官の強い米ドル政策を支持する発言が米ドル高要因となった一方で、米ドル離れの思惑や市場予想を下回る米国の経済指標が米ドル安要因となり、米ドル円は上下に振れる展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

(ご参考) 「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	5.69	2031/1/27	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	5.00	2028/2/1	1.2%
GREENEDEN U. S. HOLDINGS II, LLC	バンクローン	米ドル	6.22	2032/1/30	1.0%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	7.83	2028/8/21	0.9%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	5.72	2031/8/1	0.9%
HUB INTERNATIONAL LIMITED	バンクローン	米ドル	5.92	2030/6/20	0.9%
ADIANT GLOBAL HOLDINGS LTD	バンクローン	米ドル	5.97	2031/1/31	0.8%
AHEAD DB HOLDINGS LLC	バンクローン	米ドル	6.17	2031/2/1	0.8%
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	バンクローン	米ドル	6.34	2031/2/10	0.8%
STAPLES, INC	バンクローン	米ドル	9.60	2029/9/4	0.8%

(注1) 上記データは2026年1月30日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

※利率の値は、小数第3位を四捨五入して表示しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年8月27日 ～2026年2月26日	
当期分配金（税込み）	（円）	300
対基準価額比率	（％）	2.22
当期の収益	（円）	300
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	8,691

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	860.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		4,502.79
(d) 分配準備積立金		3,628.60
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		8,991.51
(f) 分配金		300.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		8,691.51

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2－シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 8. 27~2026. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	80円	0. 627%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12, 822円です。
（投 信 会 社）	(25)	(0. 194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(53)	(0. 416)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0. 008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	82	0. 638	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

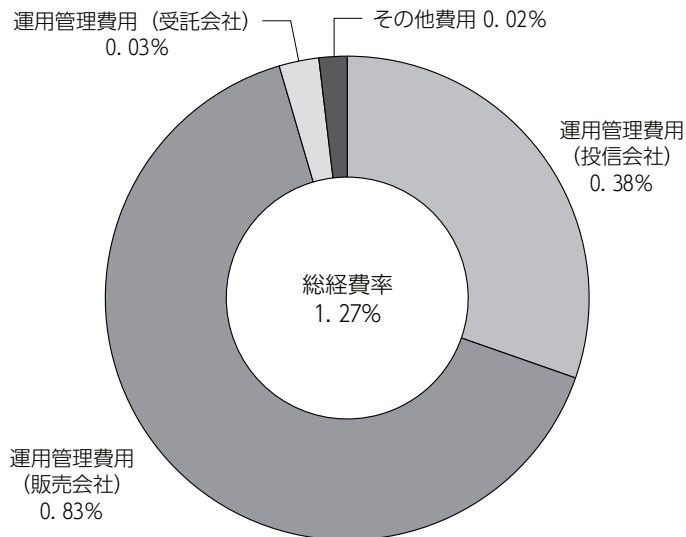
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。
純資産総額に対して年率0.604%程度、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公社債

(2025年8月27日から2026年2月26日まで)

外国	アメリカ	社債券	買付額	売付額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			695	1,963
			()	()

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2025年8月27日から2026年2月26日まで)

当 期		付	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	107,776	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	304,399

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	区 分	額面金額	当 期 末						
			評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
			外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
		千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
	アメリカ	36,290	18,181	2,839,190	99.1	—	—	99.1	—

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジなし

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期 末			評 価 額		償還年月日
		種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	36,290	18,181	2,839,190	2029/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2026年2月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,839,190	95.9
コール・ローン等、その他	121,640	4.1
投資信託財産総額	2,960,830	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝156.16円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,839,618千円)の投資信託財産総額(2,960,830千円)に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年2月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,960,830,405円
コール・ローン等	119,905,494
公社債（評価額）	2,839,190,246
その他未収収益	1,734,665
(B) 負債	96,285,022
未払収益分配金	65,100,846
未払解約金	12,176,161
未払信託報酬	18,876,874
その他未払費用	131,141
(C) 純資産総額（A－B）	2,864,545,383
元本	2,170,028,233
次期繰越損益金	694,517,150
(D) 受益権総口数	2,170,028,233口
1万口当り基準価額（C／D）	13,200円

* 期首における元本額は2,439,377,202円、当作成期間中における追加設定元本額は74,276,971円、同解約元本額は343,625,940円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,200円です。

■損益の状況

当期 自2025年8月27日 至2026年2月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	202,985,173円
受取利息	201,478,725
その他収益金	1,506,448
(B) 有価証券売買損益	36,041,296
売買益	189,782,672
売買損	△ 153,741,376
(C) 信託報酬等	△ 19,240,179
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	219,786,290
(E) 前期繰越損益金	190,135,013
(F) 追加信託差損益金	349,696,693
(配当等相当額)	(977,120,144)
(売買損益相当額)	(△ 627,423,451)
(G) 合計（D＋E＋F）	759,617,996
(H) 収益分配金	△ 65,100,846
次期繰越損益金（G＋H）	694,517,150
追加信託差損益金	349,696,693
(配当等相当額)	(977,120,144)
(売買損益相当額)	(△ 627,423,451)
分配準備積立金	908,962,756
繰越損益金	△ 564,142,299

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	186,646,413円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	977,120,144
(d) 分配準備積立金	787,417,189
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,951,183,746
(f) 分配金	65,100,846
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,886,082,900
(h) 受益権総口数	2,170,028,233口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	300円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。